

先週のマーケット動向(11月21日~11月25日)

為替、株式

| | Open | High | Low | Close | Chg |
|---------|----------|----------|----------|----------|--------|
| USD/KRW | 1,342.0 | 1,362.9 | 1,319.4 | 1,323.7 | ▲16.6 |
| JPY/KRW | 9.5604 | 9.6622 | 9.5268 | 9.5464 | ▲0.035 |
| KOSPI | 2,446.05 | 2,449.66 | 2,401.50 | 2,437.86 | ▲6.62 |

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落した。週明けの21日には中国のコロナ感染者再拡大を受けてゼロコロナ政策の緩和が遅れるとの懸念が拡大し、リスクオフからドル買い地合いとなった他、韓国株を含む株式市場で外国人投資家の株売りとなり、ドル/ウォンは1342ウォンでオープンし、日中にかけて底堅く展開した。さらに22日の10月韓国輸出額(結果: 年率▲16.7%、予想: 同▲5.5%)が軟調な結果となるとリスクオフ地合いが継続。しかし24日のFOMC議事要旨で金融当局者による今後の利上げペース減速でのほぼ一致を確認したことから米金利の低下に沿ってドル/ウォンも下落に転じた。24日のBOKの会合ではコンセンサス通り25bpの利上げ(3.00%→3.25%)が決定され、利上げサイクルの終了が示唆されるも、週末にかけてFOMC議事要旨公表後からのドル売りの流れが継続。結局、25日には先週末対比16.6ウォン下落した1323.7ウォンにてクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォンはやや上値の重い展開を予想する。米利上げペースの減速への期待からドル高が一服していることから、目先は米長期金利の動向を意識した値動きを想定。週初はブラックフライデーのオンライン売上高が過去新記録を更新したことなどから、先週末にかけて下値を切り下げてきたドル/ウォンは一旦買戻しが入ると思われるが、11月製造業ISMや雇用統計に注目が集まる中、週末にかけては再び急速な金融引き締め強化を裏付けるような経済指標の結果となる可能性は高くないことを勘案すると、今週のドル/ウォンは先週に引き続き上値の重い展開の継続を予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

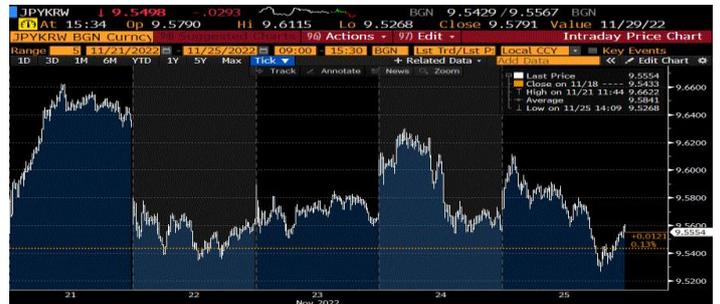
予想レンジ

| USD/KRW | JPY/KRW | USD/JPY |
|-------------|-------------|---------------|
| 1320 ~ 1350 | 9.51 ~ 9.64 | 138.5 ~ 140.5 |

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 29日(火) 日 10月 失業率 確定値
米 11月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
- 30日(水) 日 10月 鉱工業指数 速報値
米 11月 ADP雇用統計
米 3Q GDP 二次速報
中 11月 製造業PMI
中 11月 非製造業PMI
- 1日(木) 韓 3Q GDP 速報値
米 10月 個人所得 確定値
米 10月 個人消費 確定値
米 11月 ISM製造業景況指数
- 2日(金) 韓 11月 CPI
米 11月 非農業部門雇用者数
米 11月 失業率